

SSKP

2021年9月

はれのちくもり

第135号

別冊ピアス通信 第54号

この通信では、ピアス（就労移行支援事業・自立訓練（生活訓練）事業・就労定着支援事業）のトレーニングやイベントを中心に、「働く」ことに関する情報を発信していきます。

巻頭言

就労トレーニングの今②

前月号と今号では、ピアスで行われている就労トレーニングの実際の様子を、メンバーの声とともに紹介しています。開所から現在まで変わらずある「厨房部門」と「環境整備部門」、一番新しい就労トレーニングの作業である「NHK学園でのお弁当販売」は前月号で特集しました。

就労トレーニングの作業内容は、実際の仕事に近いものに設定することが、ピアス開所時から大切にしていることです。その時々労働市場も視野に入れ、様々な変遷がありました。

今号では、近年の就職先として、求人が増え始めたことで取り入れ始めた作業内容である「事務補助部門」と、職場実習をこれから始めようとする入口と位置づけている「くにたち苑/職場体験実習」（外部機関でのリネン作業）を特集します。そして、ピアスで就労訓練を始めるにあたり、訓練の土台づくりを行う「自立訓練（生活訓練）事業」の紹介も併せてご覧ください。

事務補助部門 ～施設内の様々な事務作業を通し、仕事の進め方やコミュニケーションを意識して働く～

印鑑押し、宛名書き、テプラ作成のような軽作業から始め、段々と売上計算などプレッシャーのある作業やメニュー表入力作成など期限が決まっている作業に取り組んでいきます。銀行での入出金、各部屋準備、消毒のような動きのある作業も行っています。パソコンやコピー機など事務機器の使用に慣れるなど、事務作業の基礎が身につく部門です。現在事務補助部門でトレーニング中のSさんにインタビューしました。

☆力になったことは？

報連相や電話の対応など、事務の基礎が身に付きました。任された仕事を、基本的には一人で最後まで作業を進められる力です。ミスがないように見直しをするようにしています。

時間内に終わらせることや間違いのないよう責任をもって作業をする必要があり、責任感が持てました。

☆大変なこと

お金の計算があり、間違わないようにすることです。プレッシャーもあります。

時間内に終わらせなければいけない作業があり、緊張や焦りがあります。

☆嬉しかったこと

時間内に作業が終えられたことや間違わずにできるとホッとします。

日をまたぐ仕事は、家に帰っても気になってしまって苦手ですが、終わらせることが出来ると嬉しいです。

☆アピール

事務の基礎が身につくので、目指している人にはうってつけです。

目指していない人も、報連相や社会に出たときに必要なコミュニケーションスキルが学べると思います。



くにたち苑（職場体験実習） ～働くイメージを具体的にするために～

ピアスでは、部門のトレーニングが進んでくるとピアス以外の場所で作業に取り組みます。その一つに、市内にある特別養護老人ホームで行うリネン作業があります。入所者の衣類の洗濯、乾燥、各居室への戻しの作業を、スタッフ含め2、3人で協力して取り組みます。

今回、くにたち苑での実習を初めて3週間目のメンバーのKさんにインタビューをしました。

☆くにたち苑はどんなところですか？

とても実践的なトレーニングの場だと思います。他のメンバーがいないのは寂しいが、そのほうがより実際の仕事に近いと感じます。

洗濯機操作をしながらタオルなどを畳む、という同時平行作業を経験できるのも、よい訓練になると思います。

☆くにたち苑での実習で、力になったことはありますか？

実習時間がピアスより1時間多いので、5時間働ける体力作りに取り組み、こなせるようになってきています。体調を整えるために早めに寝たり、など工夫をし、生活とトレーニングのバランスがとれるようになってきました。あと工夫としては、極力家に悩みを持ち込まないようにしています。これはピアスのときでも同じです。今現在、三週間経って時間の使い方がうまくなってきました。作業の流れが掴めてきていると思います。

平行作業のトレーニングをやっている中で時々片方をやると片方を忘れることがあるので、それが今後の課題と思っています。

☆嬉しいことはどんなこと？

作業の成果が目に見えるのがいいです。洗濯物がなくなっていくのを見るとやりがいを感じます。

自立訓練（生活訓練）事業 ～就労移行での準備訓練に向けて～

就労移行支援事業を利用の前に、「生活リズムをつける」「体力をつける」「社会性を学ぶ」など就労トレーニングの土台作りに取り組み始める事業としてスタートしました。ピアスⅡというピアス本体とは別の場所で、軽作業やワークサンプル、就労移行（ピアス）の部門トレーニング体験などに取り組んでいます。就労移行の2年間とは別に就労準備に取り組みます。今回は、聞き取りをした当日に通所していたメンバーに、座談会式でピアスⅡを語ってもらいました。

☆みなさんにとって、ピアスⅡってどんなところ？

Yさん：ワークサンプルでは、自分の得意・不得意を見つけられる。

Oさん：自分にとって、まずひきこもりから強制的に出かけられるところ。

Hさん：第Ⅰ（同法人内地域活動支援センター）以上、就労移行未満。

☆自分の力になったことは？

Hさん：疲れ・体調のマネジメントができるようになった。

Sさん：力加減がコントロールできるようになった。力を抜いていいところや入れるところのメリハリが出来てきた。

Kさん：挨拶を自分から気持ちよくできるようになった。

Kさん：ピアスに通所していると、無駄な昼寝がなくなりました。

Iさん：報連相ができるようになってきました。

☆大変なところは？

Sさん：いろいろな作業もあって、1ヶ月くらいは覚えるのが大変。

Iさん：通勤が大変です。

☆自立訓練（生活訓練）を一言で！

Sさん：生活と就労のつながりの生活訓練！

Hさん、Yさん、Oさん：『自立への第一歩！』『ダイレクトで移行が不安なあなたに！』『より完璧なスタートダッシュを！』かな。



ピアス OB インタビューリレー



今回のOBインタビューリレーは、草苺信太郎さんにお話ししました。

草苺さんは、働き始めてから4年目。現在、都内にある特例子会社と似た環境の公官庁で働かれています。

業務内容は、シュレッダー、データの入力、会場設営など幅広くあり、週5日勤務されています。去年の4月からは週1回の在宅勤務をしていて、体力的には楽な面もありますが、精神的には辛いなと感じることもあるそうです。

今回は、フォローアップCES（9/25）が終わった後に、ピアスでお話を伺わせていただきました。

〇仕事をしていて嬉しかったこと

仕事の内容は、多岐にわたりますが、グラウンドの草むしりをしているときに、その施設の方が手伝ってくださったことがあり、自分達の頑張り伝わったと感じました。仕事の相手に自分達が頑張っていることが伝わっていることを実感できたり、感謝をされたときに嬉しいと感じます。

また就職が決まった時は、仕事をしていない不安からの解放感がありました。

今は、来年2月あたりから一人暮らしを始めようと考えています。また、もうすぐ職場内の常勤登用の面接の機会があり、それを受ける予定です。いろいろなことにステップアップしている実感があります。

〇仕事を始めて大変なこと

「仕事」は気が張るものです。だから精神的に疲れます。ただ、今の職場は人間関係が良いです。人間関係は働く上で一番気になっているところなので、その点は大いに救われています。仕事に関しては、気をつけるどころ、そんなに気をつけなくても良いところと、自分で組み合わせなどを工夫しながら進めています。

〇ピアスの取り組みで役に立ったこと

意外なところで言うと、ワークサンプルの「仕分け」の作業が、そのまま活かせる業務内容があり役に立っています。また、ちょこちょこ清掃の作業もあるので、環境部門で培った清掃の基本の「キ」、例えばあいさつをすることや共有スペースでの清掃のやり方など、その心構えが役に立っています。清掃作業の時は、全体の流れが自分で見えるので、リーダー的な役割をはたせていると思います。厨房は苦手感がありました。今日のCESのテーマでもありましたが、「自分の苦手を伝える」ことの練習ができた場所だと思っています。くにたち苑は、時間も長く、仕事の基本を学べた場所でした。他の利用者さんと二人で作業するのですが、組んだ方はとても器用だったり仕事ができたりする方々で尊敬していました。お互いが苦手なところを補い合って仕事をしていくという経験ができました。今の職場にもそんなリスペクトできる方がいて、その方のいいところを活かすという働き方ができていると思っています。

〇安定して働くために気をつけていること

いつも目標にしているのは、一日一日を落ち着いて過ごすことです。（ノ）

（ノ）

また、寝る時間を一定にしたり、昼には野菜不足を補うために野菜ジュースを飲んだり健康管理に気をつけています。また、自分の時間は自分のために「目一杯自分のもの」として使うようにしています。この時間がとても大事です。生活を充実させることが大事なのでしょう。

〇支援機関の使い方のコツ

コアにあるのはフォローアップCESです。特性にもよりますが、自分にとっては人との接し方の基本を学べる大事な時間になっています。今日のCESの話題になったのがまさしく「苦手を伝える」でした。たまたま苦手なことを頼まれた時に、自分が苦手なことを伝えるという設定で考えました。こうやって一つ一つやり取りの方法を積み重ねていくことがレベルアップにつながっていると思います。また、オープナーと定期的に面談をしています。

〇将来の夢

自分の趣味をもっと高めていくことです（あまりに壮大すぎる夢なので詳しくは言えませんが）！あとは、近い将来のことであると、一人暮らしをし、それを安定させることです。

〇ピアス利用者さんへのメッセージ

入社の面接の時も、実際の日々の仕事でも感じているのは、自分の得意不得意など自分を理解することが一番大事だということです。そうすることで他の人と一緒に働く時のリードの仕方やお願いの仕方ができるようになっていきます。

草苺さんにお話を伺っている中で、ピアスでの具体的な経験がたくさん出てきました。それが今の仕事のこういう時に役立っているというお話が多いことがとても印象的でした。今の仕事に活かしていくことができている草苺さんが素敵だなと思います。着実に一つずつステップアップしているとおっしゃる草苺さん。それが自信につながっているんですね。ピアスでの経験と、今も続けていらっしゃる月1回のフォローアップCESが草苺さんを支えているのだと感じました。

草苺さん、ご協力ありがとうございました。（増田）

※前号でご紹介した秋庭さんのお名前に間違いがありました。正しくは秋庭攻（おさむ）さんです。大変失礼いたしました。

◆ピアスからのお知らせ◆

～ 定着支援事業をご利用のみなさまへ ～

緊急事態宣言が明けても、まだまだコロナの緊張は続いています。また、この2年弱、職場や生活環境の変化に合わせてきた日々や自粛活動の疲れの声を聴くことが増えたようにも感じます。みなさんの近況はいかがでしょう？

ピアスでは、10月より開所時間を通常の17時に戻し、利用時間も16時を目安としています。現役メンバーはトレーニングの後、一息ついてから帰れるような日常となり、ピアスの2階からマスク越しに賑やかな声が聞こえることが増えています。以前は当たり前だった景色を、今は感慨深く思っているところです。前と全く同じに戻るのはまだまだ難しいですが、「ウィズコロナ」をうまく乗り切りたいものです。

●今後の予定●

11月13日（土）

OB会 10:30～ 1時間ほど リアル（ピアス2F）&オンライン（zoom）を予定しています。

※OB会は、毎月第2土曜日の午前中に開催しています。詳細については、別途ピアスだよりでお知らせいたします。

11月27日（土）

フォローアップCES 10:00～

※今回は第4土曜日です。場所はピアス多目的室で行います。

～ その他のお知らせ ～

多摩棕櫚亭協会では、新型コロナウイルス感染症防止として、法人建物入り口にアルコールスプレーの消毒液を置いています。手洗いも含め、入館時の手指消毒のご協力をお願いしています。また、来館者の記録のため、入館の際は、お手数ですが来館者名簿への記入をお願いしています。体温の記録もお願いしています。自宅で測った体温もしくは、名簿近くに置いてある非接触型の体温計での計測をお願いします。

今後も建物内の人数が密になることを避けるため、面談の変更や訪問の延期をお願いすることがあります。今後も安全にみなさまにご利用いただくため、重ねてご協力をお願いします。

編集後記

今号は予定発行日よりだいぶ遅くなってしまいました。申し訳ありません。気づけば季節も秋を通り越して冬のような寒い日も多くなりました。みなさま、体調にお変わりありませんか？そんな秋も終わりを迎える今日この頃。我が家の庭のピーマンとナスが、これが最後か！？というほど実りを迎えています。せっせともいでは食べる日々。フルーツ狩りならぬ野菜狩りの秋を楽しんでおります。（長野）

ホームページで最新情報をお届けしています。

→ www.shuro.jp

または『棕櫚亭』で検索！



社会福祉法人

多摩棕櫚亭協会



【編集】 国立市富士見台 1-17-4

社会福祉法人 多摩棕櫚亭協会

就労移行支援事業所ピアス内

はれのちくもり編集委員会

Tel 042-575-5911

【発行】 特定非営利活動法人

障害者団体定期刊行物協会

〒157-0072 世田谷区祖師谷 3-1-17-102

Tel 03-6277-9611

【定価】 100円